

重要な種及び群落	重要な種及び注目すべき生息地	重要な種及び注目すべき生息地
工事施工ヤードの	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置
1 調査すべき情報 1 主な植物に係る植物相及び植生の状況	<p>一 調査すべき情報</p> <p>1 主な動物に係る動物相の状況</p> <p>2 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>3 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>二 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>三 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>四 調査地点</p> <p>動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>五 調査期間等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>二 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</p> <p>三 調査地域</p> <p>土地利用及び地形の特性を踏まえて日照障害に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>四 調査期間等</p> <p>土地利用の状況及び地形の状況を適切に把握できる時期</p>
予測の基本的な手法	<p>一 予測の基本的な手法</p> <p>動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>二 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえて重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>三 予測対象時期等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえて重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>	<p>二 予測地域</p> <p>調査地域のうち、土地利用及び地形の特性を踏まえて日照障害に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>三 予測地点</p> <p>土地利用及び地形の特性を踏まえて予測地域における日照障害に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>四 予測対象時期等</p> <p>工事が完了する時期</p>
主要な眺	地域を特徴づける生態系	設置及び工事用道路等の設置
道路の存在	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置	道路の存在(地表式又は掘削式)及び道路の存在(嵩上式)
1 調査すべき情報	<p>一 調査すべき情報</p> <p>1 動植物その他の自然環境に係る概況</p> <p>2 複数の注目種等の生息、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>二 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>三 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>四 調査地点</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>五 調査期間等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>2 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>二 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>三 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>四 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>五 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>
予測の基本的な手法	<p>一 予測の基本的な手法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>二 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて注目種等に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>三 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>	<p>二 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえて重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>三 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえて重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>展望点及び景観資源並びに主要な眺望景観</p>
<p>道路の存在(地表式又は掘割式)及び道路の存在(高上式)</p>	<p>在(地表式又は掘割式)及び道路の存在(高上式)</p>
<p>一 調査すべき情報 1 人と自然との触れ合いの活動の場の状況 2 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況 二 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 三 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域 四 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 五 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然と</p>	<p>一 主要な眺望点の状況 2 景観資源の状況 3 主要な眺望景観の状況 二 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 三 調査地域 主要な眺望点の状況、景観資源の状況及び主要な眺望景観の状況を適切に把握できる地域 四 調査地点 景観の特性を踏まえて調査地域における主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 五 調査期間等 景観の特性を踏まえて調査地域における主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>
<p>一 予測の基本的な手法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改善の程度を踏まえた事例の引用又は解析 二 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域 三 予測対象時期等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との</p>	<p>主要な眺望点及び景観資源についての分布の改善の程度を踏まえた事例の引用又は解析並びに主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法 二 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえて主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域 三 予測対象時期等 景観の特性を踏まえて主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

<p>備考 一 別表第一の備考第三号から第十号までの規定は、この表において準用する。 二 この表において「注目種等」とは、地域を特徴づける生態系に関し、上位性、典型性及び特殊性の観点から注目される動植物の種又は生物群集をいう。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1066 1173 1206 1391"> <p>建設工事に伴う副産物</p> </td> <td data-bbox="1206 1173 1473 1391"> <p>切土工等及び道路等の設置、工事施設、工ヤードの設置並びに工事用道路等の設置</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1066 1391 1206 2119"> <p>の触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p> </td> <td data-bbox="1206 1391 1473 2119"> <p>触れ合いの活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期 一 予測の基本的な手法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生及び処分状況の把握 二 予測地域 対象事業実施区域 三 予測対象時期等 工事期間</p> </td> </tr> </table>	<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>切土工等及び道路等の設置、工事施設、工ヤードの設置並びに工事用道路等の設置</p>	<p>の触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>触れ合いの活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期 一 予測の基本的な手法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生及び処分状況の把握 二 予測地域 対象事業実施区域 三 予測対象時期等 工事期間</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>切土工等及び道路等の設置、工事施設、工ヤードの設置並びに工事用道路等の設置</p>				
<p>の触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>触れ合いの活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期 一 予測の基本的な手法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生及び処分状況の把握 二 予測地域 対象事業実施区域 三 予測対象時期等 工事期間</p>				

<p>ダム及び貯水池の存在</p>	<p>土砂による水の濁り</p>	<p>ダム等の工事、採石の採取の工事、施工設備及び工事用道路の設置、建設発、生土の処理の工事並びに道路の付替の工事</p>
<p>1 調査すべき情報 2 濁度又は浮遊物質量の状況 3 流れの状況 4 気象の状況 放流先の水域の状況</p>	<p>別表第二十八中土砂による水の濁りの部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。</p>	<p>汚濁に係る環境基準に規定する測定の方法を用いられたものとする。の収集並びに当該情報の整理及び解析 三 調査地域 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえて水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を把握できる地域 四 調査地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえて調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 五 調査期間等 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえて調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p> <p>の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえて水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域 三 予測地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえて予測地域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点 四 予測対象時期等 供用開始後定常状態となる時期及び水の汚れに係る環境影響が最大となる時期</p>
<p>二 予測地域</p>	<p>富栄養化</p>	<p>ダム及び貯水池の存在</p>
<p>三 調査地域 水域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえて富栄養化に係る環境影響を</p>	<p>一 調査すべき情報 1 富栄養化に係る事項の状況 2 流れの状況 3 気象の状況 4 水温の状況 二 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（富栄養化に係る事項のうち、水質汚濁に係る環境基準のあるものの状況については、当該環境基準に規定する測定の方法を用いられたいものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>二 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する測定の方法を用いられたいものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 三 調査地域 水域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえて土砂による水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域及び当該地域の土砂による水の濁りの予測及び評価に必要な情報を把握できる地域 四 調査地点 水域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえて調査地域における土砂による水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 五 調査期間等 水域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえて調査地域における土砂による水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p> <p>調査地域のうち、水域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえて土砂による水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域 三 予測地点 水域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえて予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点 四 予測対象時期等 供用開始後定常状態となる時期及び土砂による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>

<p>溶解酸素量</p>	<p>ダム、貯水池の供用及び貯水池の存在</p>	<p>受けるおそれがあると認められる地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の富栄養化の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>四 調査地点 水域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえて調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>五 調査期間等 水域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえて調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p>
<p>溶解酸素量</p>	<p>ダム、貯水池の供用及び貯水池の存在</p>	<p>性踏まえて予測地域における富栄養化に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>四 予測対象時期等 供用開始後定常状態となる時期及び富栄養化に係る環境影響が最大となる時期</p> <p>一 予測の基本的な手法 溶解酸素の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>二 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び溶解酸素量の変化の特性を踏まえて溶解酸素量に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>三 予測地点 水域の特性及び溶解酸素量の変化の特性を踏まえて予測地域における溶解酸素量に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>四 予測対象時期等 供用開始後定常状態となる時期及び溶解酸素量に係る環境影響が最大となる時期</p>
<p>溶解酸素量</p>	<p>ダム、貯水池の供用及び貯水池の存在</p>	<p>な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p> <p>一 調査すべき情報 1 水温の状況 2 流れの状況 3 気象の状況</p> <p>二 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>三 調査地点 水域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、水素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水素イオン濃度</p>
<p>水素イオン濃度</p>	<p>ダム、貯水池の供用及び貯水池の存在</p>	<p>一 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析</p> <p>二 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえて水素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>三 予測地点 水域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえて予測地域における水素イオン濃度に係る環境影響を的確に把握できる地点</p>
<p>水素イオン濃度</p>	<p>ダム、貯水池の供用及び貯水池の存在</p>	<p>一 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析</p> <p>二 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえて水素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>三 予測地点 水域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえて予測地域における水素イオン濃度に係る環境影響を的確に把握できる地点</p>
<p>水素イオン濃度</p>	<p>ダム、貯水池の供用及び貯水池の存在</p>	<p>一 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析</p> <p>二 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえて水素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>三 予測地点 水域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえて予測地域における水素イオン濃度に係る環境影響を的確に把握できる地点</p>

<p>重要な種及び注目すべき生息地</p>	<p>重要な地形及び地質</p>	<p>重要な地形及び地質</p>
<p>ダムの堤体の存在、原石山の跡地の存在、道路の存在、建設発生の跡地、生土処理場の跡地の存在並びにダム</p>	<p>ダムの堤体の存在、原石山の跡地の存在、道路の存在、建設発生の跡地、生土処理場の跡地の存在並びにダム</p>	<p>ダムの堤体の存在、原石山の跡地の存在、道路の存在、建設発生の跡地、生土処理場の跡地の存在並びにダム</p>
<p>一 調査すべき情報 1 主な動物に係る動物相の状況 2 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 3 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況 二 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 三 調査地域 水生動物については、対象事業実施区域</p>	<p>一 調査すべき情報 1 主な動物に係る動物相の状況 2 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 3 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況 二 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 三 調査地域 水生動物については、対象事業実施区域</p>	<p>イオン濃度の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域 四 調査地点 水域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえて調査地域における水素イオン濃度に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 五 調査期間等 水域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえて調査地域における水素イオン濃度に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>
<p>一 予測の基本的な手法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 二 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえて重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p>	<p>一 予測の基本的な手法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 二 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえて重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p>	<p>四 予測対象時期等 水素イオン濃度に係る環境影響が最大となる時期 及びその周辺の区域並びに対象事業実施区域の下の流域で、対象事業の供用によつてその生息環境が環境影響を受けるおそれがあると認められる地域 2 水生動物以外の動物については、対象事業実施区域及びその周辺の区域 四 調査地点 動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路 五 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>
<p>重要な種及び群落</p>	<p>重要な種及び群落</p>	<p>重要な種及び群落</p>

<p>主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観</p>	<p>地域を特徴づける生態系</p>
<p>ダム、堤体の存在並びに原石山の跡地の存在、道路の存在、建設発生の跡地</p>	<p>ダムの堤体の存在、原石山の跡地の存在、道路の存在、建設発生跡地、生土処理場の跡地</p>
<p>別表第二十八中主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。</p>	<p>地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p> <p>一 調査すべき情報 1 動植物その他の自然環境に係る概況 2 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況調査の基本的な手法 二 調査その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>三 調査地域 1 水生動植物については、対象事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象事業実施区域の下流の地域で、対象事業の供用によってその生息環境又は生育環境が環境影響を受けるおそれがある地域 2 水生動植物以外の動植物については、対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>四 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>五 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の存在</p>
<p>ダム、堤体の工事、採取の工事、施工設備及び工事用道路の設置、建設発生跡地</p>	<p>ダムの堤体の存在、原石山の跡地の存在、道路の存在、建設発生跡地、生土処理場の跡地</p>
<p>別表第二十八中建設工事に伴う副産物の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。</p>	<p>一 調査すべき情報 1 人と自然との触れ合いの活動の場の状況 2 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況調査の基本的な手法 二 調査その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>三 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象事業実施区域の下流の地域で、対象事業の供用によって主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>四 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>五 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>

備考 別表第一の備考第三号から第八号まで及び別表第二十八の備考第二号の規定は、この表において準用する。	理の工事 並びに道 路の付替 の工事

別表第三十一 振事業に係る参考手法

富栄養化 及び湛水	土砂による水の濁り の工事 及び掘削	振動	騒音	粉じん等	窒素酸化 物	参考項目	
						環境要素 の区分	環境影響 要因の区 分
別表第三十中富栄養化の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中土砂による水の濁りの部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中振動の部建設機械の稼働の項参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中騒音の部建設機械の稼働の項参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中粉じん等の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中窒素酸化物の部建設機械の稼働並びに資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行の項参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	調査の手法	参考手法 予測の手法

地下水の 水位	区域の存 在	区域の存 在
地下水の 水位	区域の存 在	区域の存 在
<p>一 調査すべき情報</p> <p>1 地下水の水位の状況</p> <p>2 地質の状況</p> <p>3 河川の水位の状況</p> <p>二 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>一 調査すべき情報</p> <p>1 水底の泥土の状況</p> <p>2 濁度又は浮遊物質量の状況</p> <p>3 流れの状況</p> <p>二 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報(浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>三 調査地域</p> <p>水域の特性及び水底の泥土の変化の特性を踏まえて水底の泥土に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水底の泥土の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>四 調査地点</p> <p>水域の特性及び水底の泥土の変化の特性を踏まえて調査地域における水底の泥土に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>五 調査期間等</p> <p>水域の特性及び水底の泥土の変化の特性を踏まえて調査地域における水底の泥土に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>別表第三十中溶存酸素量の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。</p>
<p>一 予測の基本的な手法</p> <p>地下水の水利に関する解析又は事例の引用若しくは解析</p> <p>二 予測地域</p> <p>調査地域のうち、地質の特性を踏まえて地下水</p>	<p>一 予測の基本的な手法</p> <p>堆積物の移動に関する解析又は事例の引用若しくは解析</p> <p>二 予測地域</p> <p>調査地域のうち、水域の特性及び水底の泥土の変化の特性を踏まえて水底の泥土に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>三 予測地点</p> <p>水域の特性及び水底の泥土の変化の特性を踏まえて予測地域における水底の泥土に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>四 予測対象時期等</p> <p>供用開始後定常状態となる時期及び水底の泥土に係る環境影響が最大となる時期</p>	

主要な眺望点及び	地域を特徴づける生態系	重要な種及び群落	重要な種及び注目すべき生息地	重要な地形及び地質	重要な地形及び地質
堰及び護岸の存在	堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区	堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区	堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区	堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区	堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区
別表第二十八中主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第三十中地域を特徴づける生態系の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ	別表第三十中重要な種及び群落の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第三十中重要な種及び注目すべき生息地の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中重要な地形及び地質の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	<p>三 調査地域</p> <p>地質の特性を踏まえて地下水の水位に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>四 調査地点</p> <p>地質の特性を踏まえて調査地域における地下水の水位に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>五 調査期間等</p> <p>地質の特性を踏まえて調査地域における地下水の水位に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p> <p>四 予測対象時期等</p> <p>供用開始後定常状態となる時期及び地下水の水位に係る環境影響が最大となる時期</p>

備考 別表第一の備考第三号から第八号までの規定は、この表において準用する。	建設工事に伴う副産物の工事	堰本体の工事、護岸の工事及び掘削の工事	域の存在 び湛水区 の供用及び掘削	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	景観 並びに主要な眺望	景観資源 並びに主要な眺望
	別表第二十八中建設工事に伴う副産物の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ			別表第三十中主要な人と自然との触れ合いの活動の場の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	並びに堰及び湛水区の存在	並びに堰及び湛水区の存在

別表第三十二 放水路事業に係る参考手法

参考項目	環境要素の区分	窒素酸化物の区分	粉じん等	騒音	振動	土砂による水の濁り	参考手法	
							調査の手法	予測の手法
環境影響要因の区分	環境要素の区分	窒素酸化物の区分	粉じん等の稼働	騒音の稼働	振動の稼働	土砂による水の濁り	別表第二十八中粉じん等の部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中窒素酸化物の部建設機械の稼働並びに資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行の項参考手法の欄に掲げる手法と同じ。
資材及び機械等の稼働	資材及び機械等の稼働	資材及び機械等の稼働	資材及び機械等の稼働	資材及び機械等の稼働	資材及び機械等の稼働	資材及び機械等の稼働	別表第二十八中騒音の部資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行の項参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中振動の部建設機械の稼働の項参考手法の欄に掲げる手法と同じ。
資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行	別表第二十八中騒音の部資材及び機械等の運搬に用いる車両の運行の項参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中振動の部建設機械の稼働の項参考手法の欄に掲げる手法と同じ。
洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	別表第二十八中土砂による水の濁りの部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。	別表第二十八中土砂による水の濁りの部参考手法の欄に掲げる手法と同じ。